

## 不登校は必要な選択 学校・社会は多様に応援を

6月1日(土)午前、僕は東京大学駒場へ出かけた。異才発掘プロジェクト(先端技術研究所中邑賢龍 Dr <https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/rocket>)で学校へ行かないが学びを広げる山下光さん主演・脚本・音楽・演出・監督、小林戸衣(大真)さん演出・撮影

左:光さん 右:大真さん



のドラマ「既に道」を鑑賞。深みあるストーリー・演技はコミカル、映像技術・効果は傑出！ 2人(約16才)の舞台挨拶がこれまた秀逸でした。そして午後、神奈川県立青少年センターへ、神奈川県学校フリースクール等連携協議会主催「不登校相談会」に参加した。フリースクール

右マイク：水澤さん



Largo スタッフ小林由起さんが座談会で上記長男大真さんとの不登校伴走体験を語り、代表水澤麻美さんがLargoを紹介、拝聴した。小林母子の生き方を堪能した一日でした♡

## 無理解な報道と批判が… 登戸・練馬事件

途中、小田急電車で登戸駅を通過した。“5/28事件”で逝去されたお2人、負傷した20人の方々へ土曜日の混雑する車中からご冥福をお祈りしましたが、喪失感ぬぐえませんでした。その時ふと…昨年3月4日(日)逗子市での自分ごと講座(新舛秀浩さん発信)にお招きした林恭子さん(注1)講演を思い出した。「学校に違和感を持つ…、自分がおかしい？ すると高校で不登校、大学は2週間で中退、絶望しました。母の『私の言うことを聞いていけば間違いはない』と過ごしていた私は20歳すぎ母とバトル、遅れてきた思春期でした。結果ひきこもり昼夜逆転生活、『明日こそは起きよう』と思っても起きられない、自分を責め続け36歳まで20年間。絶望は深まります。」(研究所通信59号より)

(注1) 林恭子さん(ひきこもりUX会議&UX女子会代表 User Experience = ユーザー体験)

そして同日午後、76歳父親が44歳息子を殺害する痛ましい事件が練馬区で発生した。まさに8050問題(注2)を彷彿させた。上記林恭子さんはこの期間全国メディアに積極的に出られ人権の視点を訴え素晴らしい活躍でした。林さんのfacebook5/29・30を紹介します。



ジャカランダフェス in 神奈川歯科大学 by 川辺悟史さん

○NHK が19時のトップニュースで「容疑者はひきこもり傾向」と報道している。親族の話として「おこづかいを渡していた」とも。川崎市の会見の限りではひきこもり状態にあったことは間違いなさそうだが、犯罪と結び付けて報道するのは本当にやめて欲しい。「ひきこもりだった」「精神科への通院歴があった」などの差別的な報道はいたたまれない。(後略) ○(前略)ただ、事件とひきこもりの関連性が分からない状況で川崎市が会見を行なったことには疑問がある。なぜ会見をしたのか、誰の要請なのか。

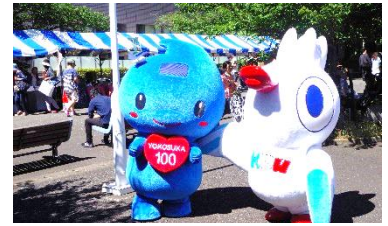
※5/31にUX会議は声明を出しました。(注2)80代の親が50代の子の生活を支える問題 研究所通信6月号で2人の人生を紹介しました。戦後74年の今、不登校・社会的ひきこもりの子ども若者の現実から、誰も取り残さない希望ある社会の実現が問われ気づく時である

と。ひきこもりは就職氷河期(1990～2010年)に労働権と社会保障を奪われた結果であり、不登校は就学(在籍)主義の学べない教育制度の結果である。子ども若者ひとり一人には生き方探しであり、大人は子ども若者個人の責任に追い込む辛酸な現実を理解することだ。

## コラム風

## 自分ごとの時代、みなで生きる社会へ

現代社会は平和と共存を求め生命尊重を基調としつつあります。無差別に殺傷する事故事件は被害に遭われた方々と親御さんを苦しみの渦に、多くの人たちにはやるせない悲しみが押し寄せます。現代は平和で安心安全な社会を求める時代です。歴史的統計で見れば、命が尊ばれ命の価値は高く犯罪や災害は激減しています。反面、消費資本主義のマスコミ報道の加速する商品化と個人が発信できるSNS情報の民主化？消費化が、意図的で過激かつ誇張の情報操作で不安を強化します。2つの事件もひきこもりを情報操作しています。統計的には殺人事件の半数以上は家族親族内で発生し、生活問題を家族自己責任とする背景は見過ごせません。登戸事件は親族から孤立化した51歳が不特定殺傷から自死へ、練馬事件は44歳息子の暴力に絶望する父親が殺人者に、孤立と絶望が生み出す社会現象です。僕らはどこへ向かうのか？人の命は奪えない。誰もが自分の命を生きる共に。一人称で語る自分ごとの時代、「僕は生きる、あなたも生きる、みなと生きる」。生命尊重を基調にその先を描きたい。戦争世代を継承する戦後世代の生き方として。(滝田)



左：横須賀市すかりん 右：神歯大カモメのケイディ by 川辺悟史さん

## それぞれの風

○先日は、ひかるくん(山下光)とともにVtvドラマ『既に道』記念すべき第一回第一話上映会を行いました。(中略)二日間四回に及ぶ大上映会は、得ることの多い機会であったと思います。突然のお願いにもかかわらずご協力頂いたスタッフの皆様方には感謝に堪えません。一番最初の回においては中邑先生まで挨拶に駆けつけてくださり、大変盛況となりました。(後略)  
○ピアノ教室の発表会(6/22)、とにかく幾年越しかのピアノ発表会。川崎を発って何年も経ち、ピアノ弾きは何年も燻っていたのですがここ数年で再開、ボチボチ進めていたところ。発表会に際して先生から連弾の打診があったのと、ひかるくんが連弾の編曲譜を送ってきたのがほぼ同時のことで、トントン拍子に話は進み。ひかるくんはピアノマスターの一人で、楽譜もそれなりのものでしたが…グリーンとブランクを取り戻していたところだったのでなんとか弾くに至ることができました。(大真さん facebook より)

Vtv タイトルカット



光栄な一枚

## 7月予定

○2日(火)10:00～鎌倉応援団・Largo 研修会「最近の事件から考える」

○7日(日)14:00横須賀応援団会議:龍崎明信 in 横須賀市民活動サポートセンター:ゲスト asamicroさん「不登校と“朝ごはんダンス”の今を語る」(※別紙) ○11日11時30～朝比奈小学校講演打ち合わせ

○14(日)14:10逗子応援団:ひきこもり発信プロジェクト:新舛秀浩 in 沼間コミュニティセンター ○17日(水)19:00～横須賀市支援教育推進委員会

○20日(土)14:00～逗子応援団:ゆずり葉の会:橋本由美子 in 逗子市民交流センター

○研究所開催日2(火)・11(木)・17(水)・25(木)日

○鎌倉市3(水)・5(金)・9(火)・12(金)・16(火)・18(木)・19(金)・23(火)・26(金)・30(火)日

【発行編集:滝田衛】住所:鎌倉市七里ガ浜東2-31-12 携帯:09072124055

●メール:qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp ●研究所:<http://shichirigaoka-lab.jimdo.com/>

●応援団:<https://www.facebook.com/kodomowakamono.ouendan/>